

# めだかの学校だより

平成 21 年 8 月 1 日  
第 65 号  
学舎：東久留女木新田観音山  
「みどりの郷キャンプ場」内  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL0539-62-6691

## 校長訓話

第六十五回 校長 西川 裕子

「石橋を叩いて渡る」・・・中には叩いているだけで渡らない人も、世の中には沢山いる気がします。  
果たして私は・・・。  
橋があつたとしても気付かないタイプ、もしくは、飛び越えて渡ってしまうタイプだと言われました。  
(メダカの学校の生徒ならば、私に共感する人も多いのでは?)

今年の1月、高校2年生の時の同窓会で30年ぶりに会った同級生とのひよんな話がきっかけで、うた「え喫茶」Cafe Triangle」をオープンさせる事になりました。  
あれよあれよと言う間に、とんとん拍子に話が進みました。  
オープンに必要なもののほとんどが、面白いほど順調に無料、または、想像もつかないような安値でぞくぞくと私の元に来てきました。  
家賃、保健所の許可などもバッチリです。

当初、「音楽教室」的な事をやって欲しいと、大屋さんである同級生に言われ、ピンと思いついたのが、「うた「え喫茶」」  
昔、流行ったとか、ロシア民謡を歌っていたとか言う知識はほとんど無いに等しい私でしたが、私なりの「うた「え喫茶」」を創りたいと思つたのです。

「Cafe Triangle」では、ピアノやギターの演奏に合わせて、様々なジャンルの歌を歌います。  
懐かしの名曲や、童謡、唱歌、最近の歌。時には、お客様や、私のオリジナル曲も取り入れます。  
カラオケで一人で歌うのは恥ずかしくても、皆と一緒に歌うのなら、楽しいと言う声も多く聞かれます。

「愉快的仲間達が共に集い、共に歌う」  
そんな素晴らしい時間を共有でき、皆さんに「喜ばれる」店になれたら、嬉しい限りです。  
中学時代から、オリジナル曲を創り始めて、ゆも出しました。  
ライブもやってきました。

応援をしてくれる、両親、家族、友達、もちろん、メダカ生にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

「これからの私にできる事はなんだろう・・・」  
私だからできる事で、皆さんに言はれる事はなんだろう・・・。その答えが、うた「え喫茶」Cafe Triangle」と言う形になりました。

今年の初めには、想像もつかなかった人生の大きな波がやってきました。  
その波にうまく乗って、今日まで来たような気がしません。

私は一人じゃない。  
周りの人達によって、助けられ、支えられて、これからも波を見極めて、乗り続けて生きたいと思つています。  
(注・沈まないように)

「ありがとう」

p.s.・・・「今日はいい日だ」と一日に40回言うのと、とても、いい日になります。西川裕子のオリジナル曲「今日はいい日だロック」は一度歌うと40回、言えるようになっていきます。  
あなたも、是非、お試し下さい。



## めだかの学校伝言板

——第65回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／西川裕子

教頭／亀澤進

用務員／田村進治

給食係／大谷洋介・山中幸子・古田賢二郎・水野忠義

今村純子・加藤ひとみ・西川裕子・本間稔

萩田博・湯浅明美・渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎> 静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山

みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成 21 年 9 月 4 日 (金) 6:20PMより——

受付／村田徳治・藤野あすか・大場敬子・斉藤昭 (後見人)

<時間割>

～17期は『い・い・加・減』のおつきあいとは～  
今回のテーマ「こんにちは 一年生～」

●特別授業「こんにちは 一年生」

—発表・ひとり3分のあなたの時間—

加藤ひとみ、北島多江子、杉村美子、鈴木格子、田村進治、

藤野あすか、村田徳治、山中幸子、本島真弓、

(17期新人) 知久利克、村松孝司

※推薦者の簡単ひとこと—

●給食の時間～マツタケ三昧旬のお楽しみご膳～

10:15 閉校

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■三重二見浦の全国まちづくり交流会！

メダカ7匹参加  
 今年は日照時間が極端に少なく、あらゆるイベントの思いは雨模様イメージだ。今回の二見浦の交流会も、雨が確実視されていたが、参加者の意地で雨を打ち消してしまつたかのようにやんでくれた。  
 メダカの先発隊で、前夜祭から参加の水野メダカと村松メダカが氣勢を上げてくれたおかげでもあろう。

1日遅れで応援隊として、今村メダカ・中村メダカ・榎原メダカ・石野メダカが駆けつける。のんびりと3時間で伊勢市へ！さて神宮様へ日ごろのいい加減さを詫びてようとう向かったが、高校総体の会場と高速料金の割安で人と車で身動きがとれず、直ぐに諦めて会場へ向かった。さすがに伊勢！会場には伊勢市議会議員様のN様が、「おはらい横町・おかげ横町」を車で送迎してくださったのだ。開会までの時間、少しでも神さんに近づこうと...メダカの伊勢の女将さんを訪ねたが見つからず...。

二見浦の皆さんは格調の高い会場を用意され、その意気込みを感じた。(県指定文化財の寶実館) 普段は見学するところを、今回は使用するのだから！  
 会場には全国交流会だけあって、各地から20人以上の参加者があり、全体会ではメモをとり、質問あり意見が飛び出すなど元気さが目立った。若者の参加があり、いい雰囲気だった。若いというのはいいなあ！各団体、個人の紹介コーナーで、我々メダカは、水野メダカ作製の「のぼり旗」を先

頭に、村松メダカがまじめに紹介した。よかつた！よかつた！

一番の楽しみの交流会は、会場移動して「二見浦」で100名以上の人たちが一同に介した。盛り上がりはいつものことだけど、メダカが結構がんばったのでは！参加者は地元以外は常連さんが多かったからね。屋間の方々がいってくれたらまた違う盛り上がりがあったかも！人をウエルカムするのは大変なことだと改めて認識！二見の皆さんありがとう。来年は沖繩だそう。静岡空港できたから、行ってみたいなあ。この交流会の内容は、メダカのホームページで！ 参加者メダカから

### ■三遠南信アミ特別映画鑑賞会

2007年伊那谷を舞台にした映画「Beauty」をつくったもの(後藤俊夫監督、片岡孝太郎・中岡愛之助ら出演)が、8月15日から浜松市で上映される。その上映に先立って8月8日(土)14時から浜松市中区田町の、シネマイスラで、特別映画鑑賞会が開かれた。この映画は、天竜川流域の美しい秘境で、二世紀以上も受け継がれている村歌舞伎に生涯を捧げた半次と雪夫との、戦中・戦後の80年にわたる絆を軸に展開される感動の物語。主催のNPO法人三遠南信アミ理事の松田不秋メダカと水島加寿代メダカが関わっています。松田不秋メダカは対談も。

### ■不世出の画家・ブラジル日系二世

北海道出身で伯國農業開拓先駆者である山本良治氏の長男であるパウロ山崎氏。1992年浜松市へ移住。浜松市移住前からブラジルで画家として多くの賞を受賞。今回の遺作展は、同氏と親交のあった大貫正信メダカと大谷洋介メダカが呼びかけ人となって、8月11日(火)〜16日(日)

まで開催されるもの。場所は、浜松市中区中央3丁目のはままつ地ビルレストラン マイン・シユロスで。時間は11時から19時まで。入場無料。大貫正信メダカから、多くの作品の写真をみせて頂いたが、包み込まれるような素晴らしい画です。ぜひ鑑賞を！。それにしてもマイン・シユロスのランチはひどかつた。お酒好きの味付だつて。

### ■遠州大念仏『蟬しぐれの盆』

8月15日(土)午後5時から、磐田市大平の獅子ヶ鼻公園下野外ステージで、遠州地域の大家仏が一堂に会して『蟬しぐれの盆』が催された。無形文化財である伝統文化を地域の宝ものとしてはじめて企画。遠州大念仏は、徳川家康と武田信玄が、浜松市の三方原台地で激突。多くの人が亡くなった。その霊を弔うための念仏踊りに由来する。今回の『蟬しぐれの盆』は、豊岡東地区の自治会が主催し、鈴木正士メダカや榎原幸雄メダカや、溝口久メダカからも縁の下で関わっている。

### ■めだかの学校特別課外授業

『都田川水源まつり』  
 8月23日(日)午前9時から、引佐町川名の都田川ダム湖野外ステージで、交流会を主体にした「都田川水源まつり」を開く。湖面をいかだに乗ってスイスイスイ。人が集まらないといかだを運べないので、お弁当を持参して是非参加を。問い合わせは053・545・0726石野省三メダカ実行委員長まで。

### ■浜松市モザイクカルチャー世界博2009(浜名湖立体花博)にメダカのコラボ

9月19日から、浜松市のフラワーパークで開催される浜名湖立体花博に、メダカが

コラボが展覧される。古橋利雄メダカ「うちが展覧するなら浜松の特産野菜で造形物を作りますよ」その一言が展覧する羽目に。期間の9月〜11月の気候に適した野菜を調べたが、「この頃の野菜ほど病虫害に弱いモノは無い」と農家の方に言われた。と。まさにそこへ助っ人、もりが工房の服部守孝メダカとステールアーティストの鈴木格子メダカ。苗は島田市のガーデンプランツ・緑化植物生産の池谷俊裕メダカ。4メダカ、どんなコラボを創造するか。会期には是非フラワーパークにお出掛けをと。浜松市の古橋利雄メダカでした。問い合わせは090・5454・8810へ。

### ■第6回浜名湖フォークジャンボリー開催(入場無料・参加48バンド)

今年も9月12日(土)13日(日)10〜17時(両日共)浜名湖ガーデンパーク。花博ステージにて開催される。懐かしい70年代のフォークソングを中心に演奏されるこのイベントは、回を増すと音楽の輪が拡がっている。今年は、なんと広島から、新潟からと駆けつけてくれ、交流の場となる。中村メダカらが、中心となって、醸し出す市民手作りのこのイベントは、輝かしい青春のページを再現し、明日への生きる勇気を与えてくれる。問い合わせは053・449・3566中村明男メダカへ。

### ■学舎の草刈り・清掃

8月30日(日)午前9時、学舎に集合。草刈りと清掃します。ひと汗かいたあとは、木陰で持参のお弁当。是非ご参加を！。9月4日はキレイキレイの授業でいきましよう。

# 「人・ひと・ヒト」だより

●長野県天龍村の関京子メダカ。磐田市の伊藤英雄メダカのところ、しその調達に鈴木正子メダカも駆けつけて。ご主人も元氣だった。電話、嬉しかったねえ。

●浜松市の城内実メダカ。衆議院選に立候補。苦節4年、信念は変わらなず、と。めだかの学校の基本理念は「あつけからんとして業天的で挑戦心をもつこと、もう一人の自分をみつけ、もう一人のあなた発掘」挑戦心、まさに良し。

●浜松市の心理療法研究所の池田誠二郎メダカ。中区向宿から浜北区半田山へお引越し。これからは後進の指導に集中すると11月11日豊岡東公民館で、不登校やうつのお子様を持つ親御さんを対照に講座。

●森町の榊原淑友メダカ。近くのハウスを借りて、「田舎塾」を始める。奥さんと二人三脚。元氣な森町、8月1日から16日まで、夕暮れの街並みをあんどんの灯りで彩る「森ぼたる」。亀澤進・松下信久・太田康雄・村松達雄メダカらが縁の下の力持ちで活躍。

●浜松市細江町の山名れい子メダカ。市職員で4月から東区役所へ異動。「学校便りにイ（にんべん）のついた建築家 関原さんが載っていてびっくり。健康学習の研修会で知りあい、時々活躍の様子をメールをもらう、と。人のつながりって不思議だね。

●秋田県鹿角市の奈良務メダカ。いつかお尋ねしたいと考えておるのですが、子育てが終わったかなと思ふ暇もなく、両親の介護が待っていました。と。多くの年頃メダカ、まさにその時期に。健康あつての地域づくり。無理せず、ゆっくり……にね。

●浜松市細江町の上嶋裕志メダカ。浜名湖北岸を東西に走る「姫街道」沿いの各種団体が結束。6月に誕生した姫街道連絡協議会「姫街道未来塾」の会長に。活動第一

弾として姫街道検定を始める、と。永年の思いが実現。8月12日付静岡新聞朝刊に写真付きで載ってまーす。

●島田市の池谷俊裕メダカ。富士山静岡空港の近く、10年後どんなことになるやら畑にいたら、野鳥・小動物観察員の方が「オオタカをはじめ自然の生きものはさんざんものだ」とおっしゃっていた、と。

●浜松市細江町の松田不秋メダカ。夜の運転がおぼつかなくなり、例え出席できなくても皆さんの元氣な様子を知ることが出来る間柄だけは保ちたい。もはや身辺整理の段階かと、これまでの蓄積を多くの方に、と地元での講座を引き受けました。ぎりぎりまで老いと闘ってみよう。我らも亦老いつつあり、心強い限りです。

●静岡市の吉岡徹朗メダカ。浜名湖花博の会長代理から富士山静岡空港の社長として、多くのみなさんの夢を大空にのせて、難産だった富士山静岡空港、大きく育つにはまだまだ苦闘はつづく。お体には気をつけて。

●浜松市の溝口久メダカ。県の観光行政に携わる。忙しい……と言いつつ……、水窪町が合併してから、だいが元氣を失いつつある。商店街も空き家が見えています。それらと地元産そばを利用して5.6軒でまずは土・日だけ「そば屋」をやってみよう、と話があり。我こそは加勢したいという方、お申し出を！。053・451・3073 溝口久メダカまで。

●「第24回国民文化祭しずおか2009」が21年10月24日（土）～11月8日（日）まで、全県にまたがって開催される。浜松市の内山ゆき多メダカ。10月31日（土）浜松アリーナで行われる演劇「三方原合戦」の、提案者のひとりとして奮闘中！。警田市の榊原幸雄メダカ。11月7・8の2日間、警田市民文化会館で催される「人形劇フェスティバル」の実行委員に。全国

から人形劇団が集まります。掛川市の鈴木武史メダカと島山剛メダカらは、10月23日（金）～25日（日）横須賀街道の町並みの賑わいの「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」を、遠州森町では、太田山西光寺境内（森町森）で、11月7日（土）に、村松達雄メダカらが「遠州森町の祭り」と並行する。県内各地で盛りだくさんの催しものが行われる。それぞれの地域で多くのめだか生が活躍するでしょう。国文祭の問い合わせは、054・221・2369第24回国民文化祭静岡県実行委員会事務局まで。

「新人生紹介」  
●袋井市の村松孝司メダカ。造園業。自然観察員や環境学習指導員。環境については滅法強い。8月9日には、公民館講座「敷地川、山と水の探検と敷地川水中生物探検」では鈴木正子メダカと講師をやってくれた。

●浜松市の知久利克メダカ。皆様ご存知の自然食材に拘る惣菜など食の専門店「知久屋」の社長。健康志向の方にはうつつけのお弁当。加茂光廣メダカと高校の同級生。

●三重県津市の杉谷知也メダカ。地域づくりの会合には積極的に参加。足助町や伊勢市二見町での全国交流会議でも一緒。もちろん昨年6月の第15周年記念めだかの学校大学院にも。心はとっくに「めだか生」。

■「かがり火」発行人・東京の菅原一メダカから、びっくり手紙  
「かがり火」休刊のお知らせ  
「かがり火」は、6月発行予定の130号を休刊させていただくことになりました。本誌は1987年、過疎化、高齢化、地場産品の空洞化で悩むまちやむらを元気にしようと、創刊したものです。地域が衰退して国が繁栄するはずがないと……編集の基本方針としてマスメディアで

は、取り上げられることの少ない無名の人物の見識と経歴を紹介することにしました。地域の活性化は学者や政治家や評論家など有名人の言葉でどうなるものではなく、地域の片隅で「こつこつと働く人の寡黙なエネルギー」の中にあると感じたからです。22年で1,300人の方々を紹介してきました。一定の読者からは熱い支持を得ることができましたが、残念ながらついに軌道にのせることはできませんでした。誠に慚愧に耐えないのであります。休刊をそのまま廃刊に結びつけるのではなく何らかの復刊の道を探してみたい」と。

人の熱き想いは面白いもの——そして2ヵ月後、緊急「かがり火」全国支局長会議&読者大交流会のお知らせ！  
「商業ジャーナリズムとは一線を画し、地域の無名の賢者とその風土に光を当て続けてきた『かがり火』がこのまま消えて去ってよいものは、築き上げられた人と人とのつながりは……このままなくなってしまうてもいいものなのか？ 納得できない——など、多くの方々からメール、「文」電話、カンパまでいただいた……  
—そんな多くの熱き人の想いをのせて、8月29日（土）14:00～東京・日本青年館で開く。第一部は支局長会議&復刊への討論。第二部はイエローハットの鎌山秀三郎さん、馬路村の東谷望史さんらをゲストに大交流会（17:30～20:00）がある。  
「めだかの皆さんのあたたかい心に励まされました。8月29日は、めだかの旗を持参して会場で振っていただければ大いに盛り上がりませう」と菅原一メダカ。申し込みは7月末日で締め切られたが、めだかの学校からは鈴木武史、榊原淑友、石野省三、鈴木正子ら10余人のメダカ生が参加する。（榊原幸雄メダカ）

# トピックス

## 地域活性化へ

### 『浜川紅茶』復活に挑戦

浜松市北区引佐町の鈴木計芳メダカ。60年前まで浜川地区で盛んに生産されていた紅茶を復活させようと、緑茶用の機械を利活用した独自の製法で「浜川紅茶」の試作品作りに励んでいる。7月29日付けの静岡新聞夕刊に写真入で大きく掲載されていた。

浜川地区は高齢化が進み、二番茶を摘み取らない農家が増加。鈴木メダカ、そうした状況に危機感を持ち、「浜川紅茶」の復活を目指して地域の活性化に役立てようと奮闘。紅茶用の製茶室や採茶機もないので、緑茶用の機械で代用できないか、県西部農林事務所や生産仲間を訪ね回って、代用できるのを知る。二番茶の摘み取りが終わった7月から試行錯誤を繰り返して、「釜いり風紅茶」試作品、約10キロを作って、地域の皆さんに飲んでもらった。「商品化までの道のりは遠いが来年も挑戦！」とがんばれ鈴木計芳メダカ、めだかの仲間も応援してる!!!

### あれ、どこかで見たいことのある『そば屋のおっちゃん』

7月16日付静岡新聞夕刊、生活彩々面に、磐田市大平の鈴木正士メダカが大きく掲載されていた。写真を見ればまさに『そば屋のおっちゃん』。この記事を書いたフリーライターで牧之原出身の飯田達彦さんは、文章の冒頭に、『はじめて鈴木正士さん(60) 磐田市大平に名刺をもらっ

たとき、趣味の農林業」という肩書きに、なんと余裕のある人だと早合点した」と。正士メダカ「実際は逆で、私の現在の農林業のレベルが趣味でいどのものですか。うーん、まさに。でも彼の活動はそんなものではない。大平山荘には多くの仲間が集まる。人脈の広さは並ではない。山の草刈りや間伐の際には大勢のボランティアが駆けつける。「彼らを気持ちよく迎えるためには、こちらでも努力を惜しまない。普段の草刈り、空き缶拾い、桜を植える」、地味だが地域を磨く、景観を守る努力が必要と。正士メダカの打つ手打ちそばを食べたくて、大平山荘には多くの人が集まる。飯田達彦さんもその一人?。つい先日、「飯田さんと午前3時まで飲んで、コップを洗っていたら、コップが割れて6針ほどぬった」と。このそそっかしいところもまさに正士流である。ハイ。

### 事務局だより

残暑お見舞い申し上げます。びっくりに!。8月11日早朝、静岡県を襲ったマグニチュード6弱の激しい地震。一瞬東海地震かと思ったが、土砂崩れで一時東名は閉鎖されたが、思いのほか被害が少なくて良かった。

初て第64回めだかの学校は6月5日開講。校長間瀬亮太、教頭増田みさ子、用務員鈴木祐之。3人の顔合わせは今日が始めて、はてさて授業の方は...一時間目、古田賢二郎先生。「立ち木とKOUJIKI」。さすがペテラン。富士山静岡空港とすっかりまとめる。二時間目は水島加寿代先生「立ち木と売木と富士山静岡空港」。長野県らしらびそ高原の開山式に、浜松の風をあげた話。浜松人の情の厚さはさすが。地域の人と交流もはじまった。と。三時間目は石野省三先生「立ち木にカラまった風と富士

山静岡空港」。風は水島先生が話しをしたので、と教師としての現役時代の恵ガキとの交流を熱っぽく語る。つづいての校長訓話。間瀬校長「若輩の私が...」と言いなから、「地元の小学生のミニバスケのコーチをしてる。子どもから教えられることも多い」と、子どもたちとのふれあいを語る。事務局からのお知らせでは、17期の受付がはじまったこと、学舎の草刈のこと、蜂須賀千賀子メダカ。学校には出席できないけど学舎の清掃は...と駆けつけてくれたこと。などを話す。久しぶりに城内実メダカが出席。時期が時期だけにテレビカメラが城内メダカを追い回す。「いい加減にしろ!!」とテレビ局を叱る羽目に。給食の当番の欠席が多かったが、伊藤英雄メダカの指示で早くから来た生徒がセツセと手伝ってくれた。鈴木武史メダカ差し入れのじやが芋を使って、美味しい給食ができました。感謝。私語飲食全て禁止の次回三役発表。第65回校長西川裕子、教頭は亀澤進(徳増兼弘メダカ候補だったが高齢者スポーツ大会出席のため欠席で急遽変更)。用務員田村進治。新人ながら積極的、前に出たはいいが、西川裕子メダカに握手。3役の特権(異性の手を握れる)を早やばやと実践してしまう。マイツタ、マイツタと大笑い。最後はみんなで大きな輪をつくって再開を...

第65回めだかの学校の職員会議を7月2日に、磐田市の元氣村味里で開く。校長西川裕子、教頭亀澤進、用務員田村進治の3役揃い踏み。いつもの如く、ああでもない、こうでもない...と言いつつ、第65回のテーマは、一年生の皆さんに思いを語ってもらおうと、『こんにちは 一年生』に決まる。17期の通年テーマは『い・い・い・

加・減のおつきあいは...』(アクセントに注意)。また8月23日(日)課外授業「都田川水源まつり」(9時から、交流を中心)。8月30日(日)9時から学舎の草刈と清掃を決める。第65回めだかの学校は9月4日(金)、マツタケをふんだんに使った『お月見ご膳』、授業ともどもお楽しみに。

### 毎号、お詫びとお礼と...

今回は特にひどかった。発効日を遠くに過ぎていたのに何も書けない。そんな私を応援してくれた伊藤英雄、石野省三、鈴木武史、古橋利雄、本島慎一郎、間瀬亮太らのメダカさん、ありがとう!!

### 第17期の申込み受付を、6月5日の開校日より付けています

17期は、21年9月1日から22年8月31日までです。継続申込み締切りは8月31日。まだ継続手続きがなされていない生徒には、再度申込書を同封します。継続手続きがなされない生徒は、名簿からはずれ自主退学となります。ご注意ください。また入学希望者がありましたら、事務局までご連絡ください。資料送ります。

### めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行日は平成21年11月1日、原稿の締切りは10月20日です。事務局まで郵便かFAXで。メールの方は、  
《mabuchi-trd@vr.tnc.ne.jp》  
間瀬亮太090-50009-0988です。  
(メールの方は割付の関係もあるので二報を)。

### めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市市家田529番地20 榊原幸雄方 TEL0539-62-6691 (FAX同じ)  
※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡・お問合せは事務局へ。

